

第 4 回 富士市立中学校部活動地域移行検討懇話会

1 開催日時 令和6年2月21日（水）午後3時～午後4時30分

2 開催場所 教育プラザ1F大会議室

3 懇話会参加者

富士市スポーツ協会	会 長	山野 政宏
	評 議 員	吉川 武
富士市文化連盟	会 長	辻村 典枝
	常 任 理 事	泉 裕紀
富士市PTA連絡協議会	会 長	服部 英之
	副 会 長	橋本 仁
富士市中学校体育連盟	会 長	原田 和久
富士市校長会	会 長	齊藤 隆裕
	副 会 長	加藤 寧
	中学校部長	田中 文博
富士市教育委員会	教 育 次 長	江村 輝彦
	教育総務課長	味岡 俊雄
	学校教育課長	齋藤 文徳
	社会教育課長	吉田 和洋
富士市役所市民部	文化スポーツ課長	渡辺 哲成

事務局出席者

富士市教育委員会	教育総務課	小長谷 聡	調整主幹
		吉村 直也	参事補兼指導主事
		遠藤 綱輝	主幹
		山田 英雄	指導主事
	学校教育課	齊藤 太一	統括主幹
		吉田 博紀	指導主事
	教育研修センター	太田 桂	指導主事
富士市役所市民部	文化スポーツ課	深澤 慎也	文化担当主幹

4 議事

＜次のことについて、事務局から報告＞

(1) 令和6年度モデル事業について

ア スポーツ競技のモデル事業について

- ・現段階では以下の3種目をモデル事業として開催予定

【野球】 ※富士市野球連盟

- 実施は夏休み以降の新チームからを想定
- 市内を複数のエリアに分けて、エリアごとに実施
- 会場調整については、市教委と今後調整

【剣道】 ※富士市剣道連盟

- 剣道部に所属する初心者講習会等の定期的な講習会を6月に1回目を計画中
- 来年度の第1回協議会にて、モデル事業としての講習会計画を提案予定

【ハンドボール】 ※富士市ハンドボール協会

- R5年度の継続的活動拠点は無い
- 吉原第二中学校の屋内体育館に、令和5年度末ハンドボールコートのテープとハンドボールゴールを設置予定
- R6年度は平日17:00～19:00に、継続して活動予定
- 土日の活動については、今後調整

その他の競技については、団体と協議を重ね、実施できる体制が整い次第、モデル事業を開始していく。

イ 文化活動モデル事業について

- ・現段階では、吹奏楽の楽器ごとの練習会及び各種文化団体の体験会を、モデル事業として開催予定
- ・モデル実施のための予算は、指導者2人×10楽器（団体）×年3回分を基本とし、当初予算として要求。

【吹奏楽】

- 楽器ごとに会場を設け、基礎練習などの練習会を開催
- 各中学校の吹奏楽部顧問と連携をとり、実施日は今後調整していくが、会場については、各中学校を検討中
- 参考情報ではあるが、現在、富士市文化振興財団ロゼシアターの自主事業として、シエナウインドオーケストラのメンバーが中高生を対象に技術指導をする「中学生吹奏楽部員指導」「アンサンブル・ワークショップ」を開催している。

【各種文化活動団体】

- 富士市総合文化祭（春祭・秋祭）の広報紙（ちらし）を小学校5・6年生及び中学生に配布予定
- 8/4(日)・10/19(土)に、富士市教育プラザにて、ブース型の体験会を実施予定
- 体験会の情報は、紙面又はデジタル媒体で市内の児童生徒及び保護者に配布予定
- さらに追加で1日の体験会実施を、年度内に検討

意見交換 ※議題ごとに、出された意見を整理し、記載しています。

ア スポーツ競技のモデル事業について

【野球について】

- ・野球連盟の役員と中学の部活動顧問、学童野球指導者で10月から話し合いを続けている。
- ・クラス数や学校間の距離を考慮し、市内全中学校を6エリアに分け、モデル事業を実施予定である。
- ・モデル事業の開始は新チームの体制になる中体連後を考えている。
- ・このエリア分けで、各地区の学童野球も加わって小中学生が一緒に活動することも考えている。
- ・今後、野球部がない学校区に居住する生徒も野球ができるようにするため、今回の形でのクラブ化を検討していく。
- ・この形でクラブ化されていって、クラブ指導者と顧問とで指導者が異なると、一番困るのは子供たちになるので、十分に配慮していきたい。
- ・費用や会場確保などの課題はあるが、ひとつひとつ解決し持続可能な在り方を模索する。
- ・主役は子供たちなので、子供たちが好きなスポーツをできる環境づくりの支援をしたい。

【剣道について】

- ・6月の1回目のモデル事業は、剣道部に所属している初心者を対象としている。
- ・剣道連盟としては、全く竹刀を握ったことのない初心者も対象とするような、すそ野を広げる事業も今後行っていきたいと聞いている。

【ハンドボールについて】

- ・県内にハンドボール部を設置している中学校は1校であり、富士市に部活動として中学校にハンドボール部はない。
- ・今回のこの形で実施するのであれば、市全体をエリアにして、広く子供たちの活動の場を提供する「セントラル方式」と呼ばれる形になる。
- ・このような形が広がっていけば、子供たちが様々な種目を体験できるようになり、様々なスポーツのすそ野が広がっていく。他の種目のモデルケースにもなると思う。
- ・活動時間が17:00~19:00となっているのは、部活動後から施設開放までの時間であり、新しい取組である。月・水については、部活動がないので、もう少し早い時間から利用することも考えていく。その時間から活動場所の吉原二中に子供たちが集まれるかという

ことも検証していきたい。

- ・現在、ハンドボールの活動を行っている子供たちは、学校では別の部活動に所属しており、プラスアルファの活動としてやっている。部活動が任意加入になるとはいえ、現在所属している部活動との兼ね合いも考える必要がある。

イ 文化活動のモデル事業について

【吹奏楽について】

- ・指導者数や楽器数などについては、事務局担当者や吹奏楽顧問を含め、今後協議により調整していく。
- ・現在、富士市文化振興財団ロゼシアターの自主事業として、シエナウインドオーケストラのメンバーが中高生を対象に技術指導をしている実績があるので、スキーム調整がしやすいのではないかと。

【各種文化活動団体】

- ・今後、文化連盟と相談して、8月開催、10月開催それぞれの出展団体の調整を行っている。
- ・8月4日に開催する分については、5月末までにはスキームをまとめ、6月末までには子供たちに周知をしていきたい。
- ・中学生対象にアンケートなどをとって、どんな活動をやってみたいのか、ニーズを把握できれば、文化連盟からも出展の依頼もしやすいと思われる。

その他モデル事業全般に関する意見

〔小中一貫教育との関連について〕

- ・野球のように、エリアごとに学童野球と連携して活動していくことは、来年度から始まる小中一貫教育に通じるものがあると考えます。

〔モデル事業における子供たちや保護者の負担について〕

- ・予算要求案が通れば、現段階で参加費は無料を想定している。
- ・富士市主催の事業なので、会場費は無料である。
- ・指導者報償費は国・県からの事業委託料を充当するので、保護者負担はない。
- ・ただし、1日単位の掛け捨て保険に加入することを想定しており、その保険料については、保護者負担となる。

〔モデル事業における用具の負担について〕

- ・ハンドボールについては、参加者が用意するものはほとんどない。
- ・野球、剣道においては、今回は普段から継続している子供が対象となるので、既に持っていると考えます。

〔モデル事業の対象者について〕

- ・未経験で全く新しい活動に挑戦し、底辺拡大を見込む事業と、今やっている競技技術のレベルアップを図る事業とで対象が異なるので、それによって指導内容も変わってくる。
- ・文化活動団体については、ヒアリングの結果、活動メンバーのすそ野を広げたいという意向が強いので、小学生（高学年）も対象とすることを考えている。
- ・スポーツ競技については、体格差が大きいと、ケガの発生も考えられるので、中学生を対象としたい。

〔モデル事業の広報について〕

- ・モデル事業開催についての広報活動は、学校を通じて行うことを予定している。

〔モデル事業の募集定員について〕

- ・事前登録制にするのか、フリーに募集するのかなど、委託先の団体と今後調整をしていく。

〔教員が指導者として活動する場合の兼職兼業について〕

- ・小中学校の教員が、スポーツ活動団体や文化活動団体の指導者として子供たちの指導に当たる場合、「兼職兼業届」を所属する校長を通じて、市教委に提出する手続きになる。
- ・ただし、本業とする教員業務の残業を含めた勤務時間と、指導者としての活動時間とを合わせた上限時間があるので、こうした労務管理も行う必要がある。
- ・地域の人材が入っていけば、少しずつではあるが顧問の先生方の負担が減っていくと思われる。

<次のことについて、事務局から報告>

(2) 令和6年度の協議会体制について

令和6年度からは、さらに部活動の地域移行を推進するため、外部有識者を含む教育委員会の附属機関と位置付け、協議会としていきたい。

※右記メンバーの他、議事に応じてモデル事業実施団体の代表者が、オブザーバーとして参加することも想定している。

	所属団体	役職	備考
1	富士市PTA連絡協議会	会長	保護者
2		役員	保護者
3	富士市スポーツ協会	代表	スポーツ関係団体の代表者等
4	富士市文化連盟	代表	文化関係団体の代表者等
5	公募市民	—	公募による市民
6	大学教授等	有識者	学識経験者
7	富士市中学校体育連盟	会長	学校教育関係者
8		理事長	学校教育関係者
9	富士市中学校文化連盟	会長	学校教育関係者
10	富士市校長会	代表校長	学校教育関係者

ア 開催目的

○富士市版部活動地域移行グランドデザイン案の策定（目途2年間）

イ 開催回数 4回/年で計画

ウ 開催時期（案） 5月・8月・11月・2月

エ 当面の議案

- ・部活動地域移行における論点整理

- ・モデル事業実施スポーツ競技及び文化活動のスキーム確認
- ・モデル事業実施から見えた課題の洗い出し
- ・新規にモデル事業を実施する団体の調整

※協議会開催前には、以下の所管課担当者によるワーキンググループ会議を事前に開催し、協議会で諮る内容について検討することとする。

- ・教育総務課 ・学校教育課
- ・社会教育課 ・文化スポーツ課

意見交換 ※議題ごとに、出された意見を整理し、記載しています。

- ・附属機関には委員の積極的な女性の登用を求められているので、10人の委員のうち、4人程度が女性となるように考えている。
- ・9月の懇話会において、県担当者は「地域連携」と発言していた。「地域移行」というと、クラブ化させるというイメージが前面に出てしまう懸念がある。
- ・名称は「地域移行」という表現で議案化されているので名称を変更することはできないが、「地域連携」の要素を十分に考慮し進めていくこととしたい。

<事務局から>

- ・本懇話会の議事録を作成し、市ウェブサイト公開していく。

以上を確認して閉会。